

2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL http://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 具美
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長 (氏名) 牧野 信之 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 2018年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	7,669	4.5	512	4.8	528	4.2	356	5.6
2018年3月期第2四半期	7,337	7.1	488	10.2	506	9.5	337	△0.7

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 328百万円 (△11.6%) 2018年3月期第2四半期 371百万円 (11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	58.98	57.82
2018年3月期第2四半期	55.90	54.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	14,305	10,397	71.9	1,702.39
2018年3月期	14,311	10,330	71.5	1,695.83

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 10,290百万円 2018年3月期 10,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	6.2	1,360	0.4	1,400	0.8	945	0.4	156.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	7,636,368株	2018年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,591,431株	2018年3月期	1,598,411株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	6,041,428株	2018年3月期2Q	6,036,594株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、引き続き企業収益の改善、雇用や所得環境の改善も続いていることから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、不安定な欧州情勢や米国における保護主義的な通商政策による貿易摩擦の拡大、中東やアジアでの地政学的リスクの高まり等から、世界経済の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、AIやIoTといった先端技術を活用した新しいサービスに関連する需要や、競争力強化や省力化へのIT投資等が増加するなど、良好な環境が続いております。

このような環境の中、当社グループでは拡大する市場の需要に対応するため、新卒採用者の早期戦力化をすすめる一方で、外部のビジネスパートナーを積極的に活用し受注機会損失の回避に努めてまいりました。あわせて引き続き人材育成にも注力し、今後の成長に向けた投資も積極的に行なっております。また、大幅にリニューアルした自社開発の住宅建設業界向けパッケージソフトウェアにつきましても受注実績を積み上げております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,669百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益につきましては512百万円（前年同期比4.8%増）、経常利益につきましては528百万円（前年同期比4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては356百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

半導体設計や組み込みソフト開発業務に関しては、車載関連業務が引き続き堅調ですが、業務の一極集中によるリスク低減のため、業務の多様化・分散化を指向しております。また、高度な技術力が必要とされる事業分野のため新卒採用者の早期投入が難しく、ビジネスパートナーによる補強も計画未達となったこと等により、売上高は1,518百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は373百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

(ロ) ITソリューション事業

住宅建設業界向けのソフト開発が好調で業績を牽引しています。パッケージソフトウェアについては着実に受注実績を積み上げているものの、パッケージソフトウェアに対する減価償却費負担が影響したこと等から、売上高は1,958百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は178百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

堅調な需要に支えられ引き続き規模が拡大しております。業界未経験者の中途採用も行なうなど継続的かつ積極的な人材投資の効果により、増加する需要に対応してきたこと等から、売上高は4,191百万円（前年同期比7.9%増）、セグメント利益は802百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、14,305百万円と前連結会計年度末に比べ6百万円の減少となりました。これは主に、流動資産の仕掛品が156百万円、固定資産の投資有価証券が1,049百万円、固定資産の無形固定資産に含まれるソフトウェアが250百万円増加した一方で、流動資産の現金及び預金が330百万円、有価証券が398百万円、受取手形及び売掛金が389百万円、固定資産の無形固定資産に含まれるソフトウェア仮勘定が303百万円、投資その他の資産のその他に含まれる保険積立金が25百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、3,908百万円と前連結会計年度末に比べ73百万円の減少となりました。これは主に流動負債において、その他流動負債に含まれる未払費用が8百万円、預り金が7百万円、賞与引当金が29百万円、固定負債において退職給付に係る負債が8百万円、それぞれ増加した一方で、買掛金が3百万円、未払法人税等が85百万円、未払消費税が29百万円、その他流動負債に含まれる未払金が3百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、10,397百万円と前連結会計年度末に比べ66百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により356百万円増加した一方、配当金の支払により281百万円減少したことによるほか、新株予約権が15百万円増加、その他有価証券評価差額金が40百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ330百万円減少し4,052百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は679百万円（前年同期比109百万円の獲得増）となりましたが、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上529百万円や減価償却費の計上97百万円、売上債権の減少389百万円などといった増加要因があった一方で、たな卸資産の増加156百万円、法人税等の支払額257百万円などといった減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は728百万円（前年同期比368百万円の支出増）となりましたが、これは主に有価証券の取得による支出1,500百万円や投資有価証券の取得による支出1,317百万円などといった減少要因があった一方で、有価証券の償還による収入2,000百万円などといった増加要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は281百万円（前年同期比34百万円の支出増）となりましたが、これは主に配当金の支払額281百万円の減少要因があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月2日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,583	4,252
受取手形及び売掛金	3,346	2,956
有価証券	999	600
仕掛品	106	262
原材料及び貯蔵品	1	1
その他	208	198
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	9,241	8,269
固定資産		
有形固定資産	583	571
無形固定資産	413	360
投資その他の資産		
投資有価証券	3,160	4,210
その他	933	904
貸倒引当金	△22	△12
投資その他の資産合計	4,071	5,102
固定資産合計	5,069	6,035
資産合計	14,311	14,305
負債の部		
流動負債		
買掛金	192	188
短期借入金	60	60
未払法人税等	298	213
賞与引当金	952	981
資産除去債務	5	—
工事損失引当金	3	2
その他	1,019	1,004
流動負債合計	2,532	2,449
固定負債		
退職給付に係る負債	1,209	1,217
資産除去債務	44	46
その他	194	194
固定負債合計	1,448	1,458
負債合計	3,981	3,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,641	1,644
利益剰余金	7,906	7,979
自己株式	△958	△954
株主資本合計	10,037	10,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356	315
退職給付に係る調整累計額	△154	△142
その他の包括利益累計額合計	201	173
新株予約権	87	102
非支配株主持分	3	4
純資産合計	10,330	10,397
負債純資産合計	14,311	14,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	7,337	7,669
売上原価	5,856	6,149
売上総利益	1,481	1,519
販売費及び一般管理費	992	1,007
営業利益	488	512
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	3	4
その他	5	6
営業外収益合計	18	20
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	—	4
その他	—	0
営業外費用合計	0	5
経常利益	506	528
特別利益		
受取保険金	4	1
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	511	529
法人税等	173	172
四半期純利益	337	356
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	337	356

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	337	356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△40
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	33	△27
四半期包括利益	371	328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371	328
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	511	529
減価償却費	46	97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△9
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28	29
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48	26
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	0	0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
受取保険金	—	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	176	389
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△111	△156
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27	△3
未払消費税等の増減額 (△は減少)	31	△29
その他	124	55
小計	817	913
利息及び配当金の受取額	15	19
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△262	△257
法人税等の還付額	—	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	570	679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,400	△1,500
有価証券の償還による収入	1,600	2,000
有形固定資産の取得による支出	△12	△13
無形固定資産の取得による支出	△152	△18
投資有価証券の取得による支出	△411	△1,317
投資有価証券の償還による収入	0	100
資産除去債務の履行による支出	—	△5
その他	15	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△360	△728
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	100
短期借入金の返済による支出	△80	△100
自己株式の取得による支出	△0	—
非支配株主への配当金の支払額	△2	—
配当金の支払額	△263	△281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246	△281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△36	△330
現金及び現金同等物の期首残高	4,163	4,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,126	4,052

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,535	1,918	3,884	7,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	36	9	45
計	1,535	1,954	3,893	7,383
セグメント利益	379	250	690	1,319

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,319
セグメント間取引消去	53
全社費用(注)	△884
四半期連結損益計算書の営業利益	488

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,518	1,958	4,191	7,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	40	9	50
計	1,518	1,999	4,201	7,719
セグメント利益	373	178	802	1,354

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,354
セグメント間取引消去	55
全社費用(注)	△897
四半期連結損益計算書の営業利益	512

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。